

アジア熱科学工学連盟 (AUTSE) 第 4 回および第 5 回 Executive Board Meeting 報告 Report on The 4th and 5th Executive Board Meeting of Asian Union of Thermal Science and Engineering (AUTSE)

高田 保之 (九州大学)
Yasuyuki TAKATA (Kyushu University)
e-mail: takata@mech.kyushu-u.ac.jp

1. はじめに

Asian Union of Thermal Science and Engineering (AUTSE) は、アジア地域の伝熱コミュニティのネットワーク形成を主たる目的として、2015 年 11 月 13 日に設立された組織です。その活動の一環として 2017 年 3 月に Asian Conference on Thermal Sciences (ACTS2017) が済州島で開催されたのをご記憶の方は多いと思います。AUTSE では定期的に Executive Board Meeting (以下 EB ミーティング) を開催し、活動状況の報告や今後の活動方針などを議論します。

昨年の 11 月に第 4 回の EB ミーティングを上海交通大学において、今年の 8 月に第 5 回を北京の第 16 回国際伝熱会議会場において開催しました。本稿では 2 回分をまとめて報告いたします。

2. 第 4 回 EB ミーティング (上海) の概要

2017 年 11 月 4 日に上海交通大学機械工学科の会議室において第 4 回 EB ミーティングを開催しました。日本からは小原拓(東北大)、店橋護(東工大)、宮崎康次(九工大)および小生の 4 名が参加いたしました。各国の参加者は表 1 に示すように EB メンバーとオブザーバーを含めて 13 名でありました。

議題と議論の内容は以下の通りです。進行は Sung Jin Kim 会長が行いました。

- (1) 前回 (3/27/2017) 議事録の確認 (S.J.Kim)
- (2) 第 1 回 ACTS の報告 (J.H.Lee)

参加者数、参加国、発表件数などが報告されました。これについては伝熱 7 月号で報告しておりますので、そちらをご参照ください。

- (3) MTTSE-2017 の準備状況報告 (X.Zhang)

大連理工科大学で 11 月 10 日から 13 日まで開催予定の AUTSE が後援する国際会議の準備状況の報告がありました。参加者予定者は 70 名で、期待していた人数を下回っているとのこと。広報

に問題があったのではとの指摘がなされました。

- (4) ICBCHT2018 の準備状況報告 (Y.Takata)

本会主催で AUTSE が後援する国際沸騰凝縮伝熱会議 (2018 年 3 月 12-15 日、長崎) の準備状況について、アブストラクト受付は 170 件であることや会議運営に関する財務状況などホームページを紹介しながら報告を行いました。



写真 1: 第 4 回 EB ミーティング集合写真
(2017 年 11 月 4 日, 上海交通大学)

- (5) 新加盟国 (J.H.Lee)

Indian Society of Heat and Mass Transfer (ISHMT) からの加盟申請を認め、新たな Member Country とすることが承認されました。ISHMT からは、ASTFE との合同会議 (2017 年 12 月開催) に際して AUTSE からキーノート講演者を推薦するよう依頼が来ており、プサン国立大学の J.H.Jeong 教授を推薦したことが報告されました。

- (6) ACTS2020 の準備状況報告 (K.Miyazaki)

宮崎先生が 2020 年 11 月 15 日から 19 日に宮崎市で開催予定の ACTS2020 について準備状況の報告を行いました。会場のシーガイアリゾートへのアクセスに関する質問が多くありました。仁川からの直行便がある韓国からのアクセスは問題ないものの、中国側から懸念が示されました。アクセス方法については実行委員会で検討して問題が生じないように努めると回答いたしました。また、

宮崎地区の観光アピール用ビデオを WEB にリンクすること、韓国と中国から Co-chair を 1 名ずつ選任することなどが決まりました。

(7) Young Scientist Award (X.Zhang)

AUTSE では、Outstanding Achievement Award (OAA, 4 年毎) と若手向けに Young Scientist Award (YSA, 2 年毎) を贈賞しています。今回は、2018 年 8 月の国際伝熱会議(北京)の際に YSA を贈賞予定です。前回の EB ミーティングで YSA の受賞人数を 2~3 人と変更することにいたしました。

2. 第 5 回 EB ミーティング (北京) の概要

第 5 回の EB ミーティングは、第 16 回国際伝熱会議の会期中、8 月 11 日に北京国際会議場において開催しました。日本からの出席者は、前回の 4 名に花村先生を加えた 5 名です。議題と議論の内容は以下の通りです。進行は Sung Jin Kim 会長が行いました。

- (1) 前回(11/4/2017)議事録の確認 (S.J.Kim)
- (2) 新加盟国 (J.H.Jeong)

Indian Society of Heat and Mass Transfer (ISHMT) の加盟手続きに関する経過報告がありました。元 ISHMT 会長の G. Biswas 氏からのレスポンスが芳しくなく、ISHMT 内での承認手続きに時間を要していたため、急遽前会長の S.Muthy 氏と現会長の P.Dutta 氏に会場内でコンタクトをとり、今後の手続きの相談をいたしました。今後は Dutta 氏を連絡先として AUTSE での活動を展開していくことになりました。

また、オーストラリアの Australian Fluid and Thermal Engineering Society (AFTES) の加盟の可能性について議論を行い、今後前向きに検討することになりました。

(3) AUTSE 後援の会議に関する報告

清華大学の張先生から 2017 年 11 月に大連で開催された MTTSE-2017、高田から 2018 年 3 月に長崎で開催された国際沸騰凝縮伝熱会議 (ICBCHT2018, 本会主催) に関する報告がありました。AUTSE は今後、後援する会議を増やす方向です。

(4) Young Scientist Award (YSA) (X. Zhang)

Award Committee の張委員長より、第 2 回 AUTSE Young Scientist Award の選考経過と結果の報告がありました。第 2 回は、Lin Chen (東北大

学、日本)、Ming-Jia Li (中国)、Dong Kyu Kim (韓国) の 3 氏が受賞者し、14 日の懇親会の際に表彰式を行いました。



写真 2: 第 5 回 EB ミーティング集合写真
(2018 年 8 月 11 日, 北京国際会議場)

(5) ACTS2020 の準備状況 (K. Miyazaki)

九工大の宮崎先生から 2020 年 11 月に宮崎で開催予定の第 2 回 ACTS の準備状況の説明がありました。日本学術会議のサポートが得られることになり、財政的にもしっかりした案を報告していただきました。

(6) その他

AUTSE のホームページは、これまで韓国側で管理がなされてきましたが、2019 年 4 月からは日本で管理することとなりました。また、Eurotherm との連携強化、将来計画等についての意見交換を行いました。台湾の表記については Chinese Taipei とすることに決定しました。

3. 終わりに

AUTSE が立ち上がって 3 年目に入りました。今回の北京の国際伝熱会議の場において、YSA の表彰式を行うなど、世界の伝熱コミュニティにおける AUTSE の存在感は確実に増しつつあります。加盟国は日中韓インドの 4 か国ですが、今後もメンバー国の充実を図っていくこととなります。日中韓は文化的にも近い関係にあり、非常に密な連携が可能ですが、加盟国が増え組織が大きくなっていくと運営も単純ではなくなっていくと思います。しかしながら、どのような組織形態になっても日本のプレゼンスをしっかりと示せるようにするには、本会の地道な研究活動が基盤となることは間違いありません。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。